

平成25年度 事業計画

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会

1. 基本方針

そこには生活がある。地域（まち）がある。自然と支え合っている見えない絆がある。認知症であろうが無かろうが、地域（まち）で暮らす。それが自然な姿であり、そこに帰結する。その生活の智恵こそが『生きる理念』である。そして北海道におけるグループホームケアの原点である。

この国でグループホームが制度化されて既に17年の月日が流れた。物事は発展し変化し続ける事は大変重要なことであるが、今この時こそ『原点』に還る事をおすすめしたい。今一度「グループホームとは？」を語り合う事をおすすめしたい。過去を振り返るのは過去に浸るためではなく、未来を見通すためであり、立ち止まるのは、歩みを止めるためではなく、グループホームの歩みを進め続けるためだからである。

『WE CAN DO IT!』

下記の5つの理念を未来の灯りと掲げ、平成25年度の基本方針とします。

- 1) 『認知症』と『人』の理解が、それぞれの地域（まち）のブロック活動を通じて、そこで暮らす方々に広く深く浸透される「公益ある」活動
- 1) 地域（まち）中で、その有する能力に応じ自立した生活が送れるように、住民・行政・医療・福祉等の関係者が一体となった「公益ある」活動
- 1) 地域（まち）の中で、24時間『認知症』と『人』と『家族』を支える拠点として、他の事業者団体と共同した「公益ある」活動
- 1) 『認知症』と『人』を支える事業者と職員が、自らの資質の向上を図り、その仕事へのやりがいを感じ、長く生き活きと務め続けられる「公益ある」活動
- 1) 調査・研究を通して情報の共有を図ることによる「公益ある」活動

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
会 長 宮 崎 直 人

2. 役員会・組織運営等に関する事項

1) 「総会」(年2回)「理事会」(年2回程度)の開催役員会等の開催

社員総会(定時・臨時)：平成25年5月、平成26年3月の他、必要に応じ開催する。

理事会：上記総会前及び必要に応じ随時開催する。

2) 「正副会長会議」「業務執行理事会」(年2回程度)の開催

正副会長をはじめ、業務執行理事等の共通理解・共通認識を深め、活動方針の確認・調整等を行うため、必要に応じて随時開催する

3) 「総務委員会」(年3回程度)の開催

組織運営に関する諸課題及び後述記載事業内容に対応する。

4) 「事業委員会」(年3回程度)の開催

お年寄りにやさしい地域づくりとブロックの活性化につなげてゆく継続的な活動を目的とし、後述記載事業内容に対応する。

5) 「研修委員会」(年3回程度)の開催

認知症の方がその有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、介護サービスの充実を図ることを目的し、後述記載事業内容に対応する。

6) 「北海道認知症コーディネーター委員会」(年2回程度)の開催

北海道認知症地域コーディネーター養成講座の修了者に、その相互の連携と智恵と力の結集で、未来のブロック活動(地域活動)及び、当協会の運営を担っていただくことを目的とし、後述記載事業内容に対応する。

3. 総務委員会事業

1) ホームページの編集・更新

内容：行政通知等各種資料・研修会案内・各種調査研究報告等の会員への情報提供

2) 各ブロック事務局支援

内容：各ブロック事務局への助成金の支援及び情報提供

3) 永年勤続表彰

内容：10年以上勤務した会員10年ごとにその職員の労をねぎらい表彰

4) 会員証の発行

内容：新規入会した正会員に対して、会員証を発行

5) 規定等の作成

内容：一般社団法人として必要な規定を精査し規定を作成

6) 選挙管理委員会の立ち上げ

内容：平成25度に控えている会長候補者選挙開催のため、選挙管理委員会を立ち上げる

4. 事業委員会事業

1) 広報誌の発行

平成25年8月（第8号）9月発送、平成26年3月（第9号）3月発送

目的：各ブロックの活動や協会の事業活動、考えなどを活字情報を通して、会員に広く伝達されGHの発展に繋がることを主な目的としている。

2) 認知症ケアと地域づくり事例発表北海道大会（仮称）

10月5日（土）（道北ブロック主催）

目的：日々介護サービスの向上のため、私たちにできる事は何か常に考えながら様々な取り組みを行っている。多くの参加者が事例を発表することで、内容の自己点検、きづき、現状等への再確認ができる。制度や地域の状況、考え方の差異などの確認ができ、その個別の内容を全体で共有する事によって、一歩前進したケアや地域づくりへのヒントになることを期待し、後方支援するものである

対象：職員、地域住民

3) 地域づくり（SOSネットワーク等）支援

目的：認知症などの理解を深め、地域との連携の強化構築の認識を共有し、認知症の人や家族も安心して暮らせるやさしい地域づくりにつなげてゆく為の後方支援をするものである。

対象：全ブロック、地域住民

4) 事業所基礎調査

調査票発送12月前後

調査結果一覧表（自由記載含む）HP公開

目的：事業所の基礎的な調査及び時勢の必要な調査などを行い、より良い利用者サービスの健全性の確保、及び向上発展させるための活用を目的とする。

対象：道内全事業所

5. 研修委員会事業

1) 自主研修会の開催

①認知症介護実践者研修及び認知症対応型サービス事業管理者研修

項目	内容
開催予定日	5月、6月、7月、8月
開催場所	札幌、帯広、旭川、苫小牧（開催地のブロックの運営協力）
参加定員	実践者：80名 管理者40名
参加費	会 員：実践者研修 20,000 円、管理者研修 15,000 円 実践者研修・管理者研修をつづけて 30,000 円 非会員：実践者研修 25,000 円、管理者研修 20,000 円 実践者研修・管理者研修をつづけて 45,000 円 ※ 実習謝金は、受講生より実習施設へ直接支払い

②認知症介護実践リーダー研修

項目	内容
開催予定日	5月、9月、11月
開催場所	北見、釧路、札幌（開催地のブロックの運営協力）
参加定員	40名
参加費	会 員：40,000 円 非会員：50,000 円 ※ 実習謝金は、受講生より実習施設へ直接支払い

③ターミナルケア研修（1日）

項目	内容
開催予定日	I 9月、 II 1月
開催場所	札幌
参加定員	100名
参加費	会 員：5,000 円 非会員：10,000 円

④計画作成担当者研修（1日）

項目	内容
開催予定日	12月
開催場所	札幌

参加定員	100名
参加費	会 員： 5,000 円 非会員：10,000 円

2) 受託研修会の開催

①札幌市より「札幌市認知症対応型サービス事業開設者・管理者研修」を受託予定

開設者研修 2回 、管理者研修 2回 を予定

6. 北海道認知症コーディネーター委員会事業

1) 管理者パワーアップ研修の開催

主旨及び目的 : 人の支援を遂行していく上で求められるマナーの品質、それを磨きより良い人間関係を作る、またチーム力向上ための行為や心構えを具体的に学ぶ。

項目	内容
開催予定日	10月
開催場所	札幌
参加定員	90名
参加費	会 員： 5,000 円 非会員：10,000 円

2) その他

7. 関係機関および団体等との連絡調整

全国グループホーム団体連合会

- ①団体会員として引き続き加盟
- ②定期総会へ参加
- ③理事会への参加
- ④三役会への参加

北海道ディサービスセンター協議会との連携

- ・認知症介護実践研修及び認知症対応型サービス事業管理者研修の共催
(北見／函館／旭川で開催予定)

北海道担当部局との連携

その他団体との連携の推進